

と

あ

る

部

族

の

追

憶





2020 ほしふたつ。







よし

見ていたか
マヒロ

これがカキシーユの
狩りだ

あの矢はシイベ(獣槍)
と言う
蹴りの勢いで
前方に飛ばすんだ

カトウーシ(狩人)は
足に取り付けた
カムシイベ(槍柄)で
シイベを勢いよく
飛ばす訓練を積む

今仕留めたのは
ウオカムシ(大型の獲物)で
ウオ(獲物)はもつと
小さいものの事を言う

月の影は
ウオカムシを狩れた
のは久しぶりだ
とても嬉しい

ま
待って下さい
腰が抜けて...



××月××日
滞在歴8日目

××国××地方、イスタオランジュ保護区にて、
度々発見報告が上がっていた翼人と呼ばれる
少数種族「カキーシュ族」が
正式に発見されてから早30年

カキーシュ族の文化保護のため
人間の介入は厳しく制限され、
私は根気よく調査依頼を出していた甲斐もあり
5年越して介入許可が下りる

滞在期間は20日間と長いものの
カキーシュ族への影響力を極力抑えるため
調査人員は私のみの単独調査になった

現在は「月の影」という名の雌の個体に
カキーシュの文化を教わりながら
生活を共にし狩りや生活の様式を
学ばせてもらっている



今もこのまま
切り出して
あとでよくしらべて
とりこんでいよう

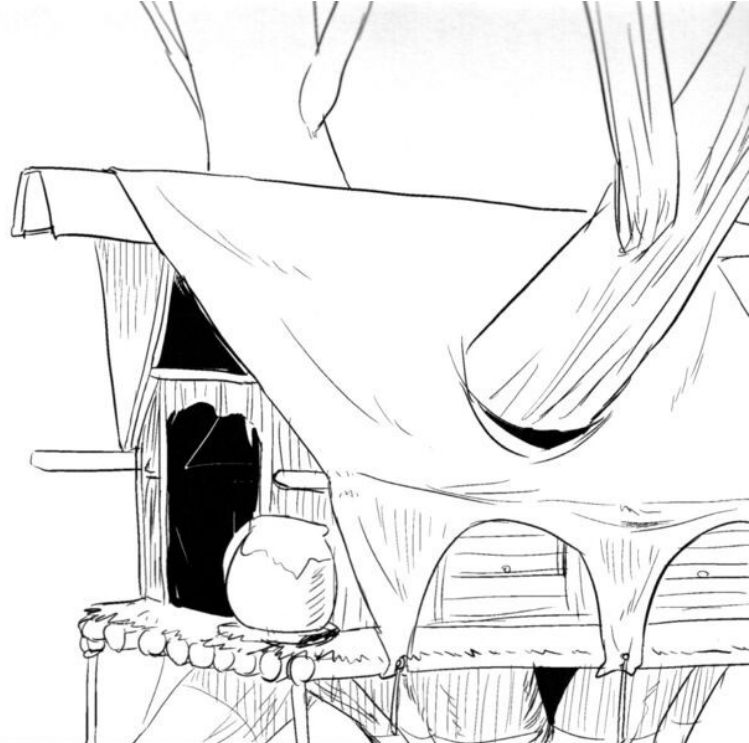
今日は
大型の野生動物の
狩りを見学させて
もらった
カキーシュは特殊な
狩り用の槍を
マヒロ

そろそろ
村に戻るぞ

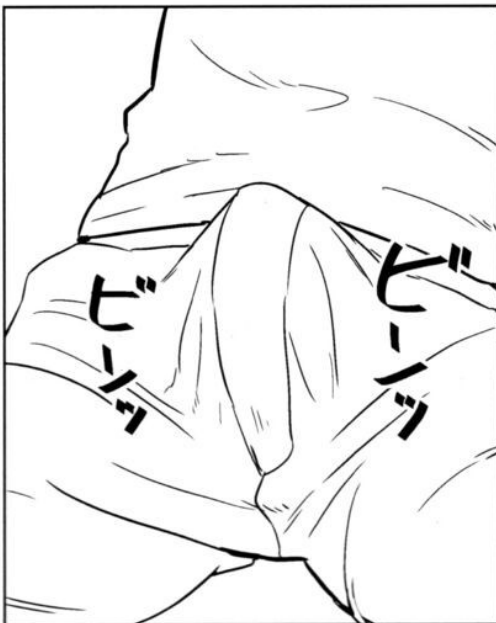
あ、ハイ
わかりました







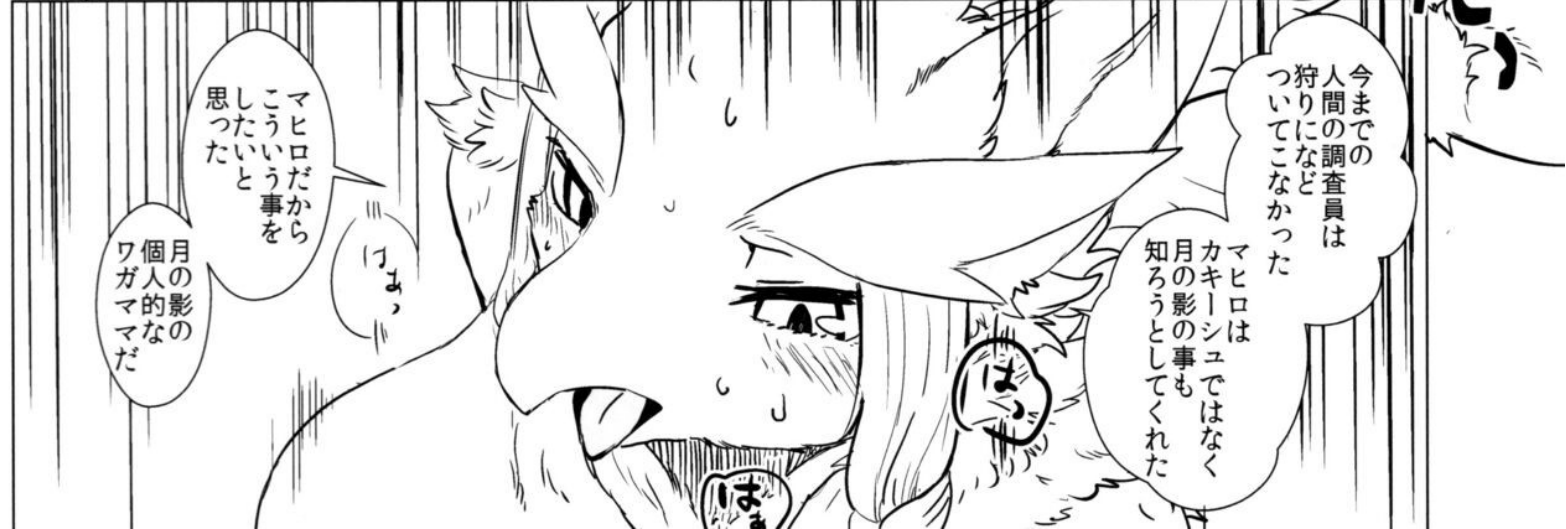














以前
人間たちに
言われた

このまま
個体数の減少が続くと
カキーシユは
数十年後には
滅びてしまうと

だから
一夫多妻制にして
どんどん
子供を作る
べきだと

だがカキーシユは
ただ一人のつがいとしか
交尾はしない
それは変わらない

この恵みある大地で生き
子を育て種を残すという
種族としての役割は
終わったんだ

そうして
カキーシユは皆
種族の衰退を
受け入れている



それに…
人間達は…
カキーシユを
知ろうとしてくれる

記録に残して
語り継いで
くれようとしている

マヒロ達人間は
強い種族だから…
人間という種が
続く限り
カキーシユが
居た
という証は
残してもらえるの
だろう

感謝
しかない





私がカキシーシュ族の村を発つ日
月の影は見送りに
来なかった

帰路のヘリコプターの中で
『私を覚えていて欲しい』と願った
彼女の美しく聡明で
秘めた寂しさを内包した
あの声を何度も繰り返し
思い出していた

私の心に
生涯残る事になるであろう
あの声を

発行：ほしふたつ。
制作：よーな
発行日：2020/11/21 けもケット9.5
連絡：yo_na8982@yahoo.co.jp
印刷：栄光